

第5章 具体的な取り組み

学校と連携して「福祉教育」を推進する

学校教育における福祉教育プログラムの活用

新学習指導要領においては「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」の知・徳・体を育て、「生きる力」をはぐくむことが掲げられています。協調し人を思いやる心などの豊かな人間性を築いていくためにも「ともに生きる力」をはぐくむ福祉教育のプログラムは有効であると考えます。

社会福祉協議会では、これまでも福祉教育を大切に、学校を含めた地域の様々な場面ですすめられる福祉教育を推進・支援してきました。学校ですすめられる福祉教育に対しては、プログラムの企画段階からの相談、地域の社会資源や人材をつなぐコーディネートを担っており、地域の様々な資源を駆使したプログラム提案をすることができます。

ゲストティーチャーによる授業の展開例

①【こんなことも「助け合い」って言うことを知ってほしい】

町の現状と「助け合い」体験ゲーム

内容	①町の人口、高齢化率、高齢者世帯、単身高齢者世帯、（一人親家庭を含めるか）等の説明。地区ごとの人口ピラミッドがあれば見せたい。 ②高齢化が進むと地域にどんな影響があるのか。（孤独死、買い物難民、除雪困難） ③ここで「助け合い」体験ゲーム。最後に手元にあるカードの枚数で、自分が「助けられ上手」か「助け上手」かがわかる。 ④今後、自分が地域で関われそうなことやしてみたいことを考える。
講師	社会福祉協議会職員（地域支え合い推進員、地域福祉コーディネーター）

②【「SDGs」って、そんなに難しくないことを知ってほしい】

SDGs「1. 貧困をなくそう」を考える

内容	①SDGs 普及推進員から、目標 1 について説明いただく。 ②数多くの意味での貧困があると理解できたら、自分の家や学校、町中で感じたことのある貧困（不平等）または平等について出し合う。 ③貧困、不平等についてどうすれば解決に導けるか（自分にできること）を考える。（フードロス、バリアフリー、リデュース、リユース、リサイクル etc.）
講師	SDGs 普及推進員、社会福祉協議会職員等

③【高齢者に対することばかりが福祉じゃないことを知ってほしい】

福祉の仕事について学ぶ

内容	①「福祉＝介護」以外にも、福祉の仕事があることを紹介。どんな資格があるのか等。 ②自分の中の高齢者のイメージや、生活するうえで大変そうなことを出し合う。（高齢者疑似体験も可能） ③これから暮らしていく中で高齢者や障がい者の方と、どう関わりたいかを考える。
講師	社会福祉協議会職員、町内社会福祉施設等で勤務する介護職員

④【家族の一員として身を守る知恵を身につけてほしい】

防災食（備蓄）について学ぶ

内容	①災害（水害、雪害、地震、台風）が発生した際にライフラインが使えないことの影響を学ぶ。（電気、ガス、水道） ②「〇〇が無くて△△があれば」できる調理方法の実践。（調理実習） ③もしもの時に備えておくの良いものを知る。自分の家族にとって必要なものは何かを考える。（祖父母・両親・兄弟・ペット）
講師	防災アドバイザー、防災士、社会福祉協議会職員等

⑤【その人の「個性」を理解できるひとになってほしい】

福祉に関するマークやユニバーサルデザインについて学ぼう

内容	①障がい者に関するマークの意味やユニバーサルデザインがあることで、誰にどんな良いことがあるのかを学ぶ。 ②オリジナルのマークを考える。どんな人に配慮したマークなのか発表する。
講師	行政職員、社会福祉協議会職員等

⑥【家族や地域の一員として協働できるひとになってほしい】

老人クラブにインタビュー『困りごと手伝隊！』

内容	①社会福祉協議会で『困りごと手伝い隊！』（仮）を結成し、老人クラブ会員へ日常の困りごとをアンケート調査する。 ②その中から手伝える内容があれば、直接現地（家、畑、公民館など）へ足を運び、お手伝いしてくる。（草むしり、ゴミ出し、収穫、話し相手、清掃等） ③「〇〇について知りたい」等の、自分たちが知らないことが困りの場合は、必要に応じて関係機関へ訪問し、調べたことを後日説明しに何う。
講師	社会福祉協議会職員（地域支え合い推進員、地域福祉コーディネーター）

⑦【家族や地域の一員として認知症への正しい理解深めてほしい】

学校で認知症サポーター養成講座を開催

内容	①基本的な認知症の正しい理解及び多様性の理解、世代間交流について学ぶ。 ②受講後「オレンジリング」と「認知症サポーター証」を考える。 ③今後、自分が地域の高齢者に対してどう接していきたいかを考える。
講師	指定研修を受けた「キャラバンメイト」・地域包括支援センター

⑧【人と動物との共生による“いのちの尊さ”について考えてみてほしい】

盲導犬出張講演

内容	①視覚障害や盲導犬について、スライドや実演を交えての講演を行う。 ②盲導犬と実際にふれあってみよう。
講師	東日本盲導犬協会等

「除雪支援体制」を充実させる

将来構想実現までのステップ

将来構想を実現するため、その達成していくステップを3年後、5年後、10年後のそれぞれの段階について、以下の通りとします。

《将来構想実現のためのステップ》

項目	安全対策	組織強化・連携	担い手確保・育成	意識啓発・周知
3年後	<ul style="list-style-type: none"> 多様な主体が参加した「除雪体制プロジェクト会議」の開催（方向性共有と役割分担確認） 多世代が参加するワークショップ開催（現状、課題等の把握と方向性の共有） 克雪方針策定後は克雪協議会（仮称）の開催（各組織の情報共有） 	<ul style="list-style-type: none"> 共助の仕組みを学ぶ勉強会の開催と実践の試行 共助団体同士の連携の強化 除雪機等の貸出しや更新の支援 自主防災組織との連携 除排雪業者の現状の体制等の把握 共助団体の有償ボランティア導入の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 地域での今後の課題に向けた話合いの促進 除雪ボランティアの受け入れ体制整備 学校と連携した地域学習 若い世代への地域学習の実践 民地除雪の実施主体の担い手の確保 ふるさと納税の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 広報紙等での死傷事故やヒヤリハット事例の紹介 安全対策に関する資機材導入に関する地区別の説明会実施 高齢期の健康な身体づくりへの取り組み ルール遵守や良好な関係性の維持・向上 克雪リフォーム補助の活用促進
	<ul style="list-style-type: none"> 雪下ろし、敷地内除雪に関わる安全講習会の定期的な実施 安全対策に関する資機材の導入の支援 雪下ろし等住宅カルテの作成及び更新の促進 			

→ヒヤリハットの減少、安全対策資機材の認知度向上、若い世代の共助組織への参画

5年後 これまでの取り組みに加えて	<ul style="list-style-type: none"> モデルケースによる安全講習会実施 克雪住宅の普及に向けた支援 	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織との連携の実現 町外も含めた共助の仕組みの検討 	<ul style="list-style-type: none"> 雪の良さ・文化の発信 移住体験の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 地区別のワークショップ等による課題共有 雪のエネルギー利用などの利雪の検討
----------------------	---	--	---	--

→ヒヤリハットの半減、安全対策資機材の普及、持続可能な共助組織の構築

10年後 これまでの取り組みに加えて	（取り組みの継続）	<ul style="list-style-type: none"> 町外も含めた共助組織の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 移住者や若い世代からのリーダー誕生 雪国文化の継承 	<ul style="list-style-type: none"> 地区別のワークショップ等による課題解決 雪の多面的利用による地域活性化
-----------------------	-----------	---	--	--

→死傷事故・ヒヤリハットゼロ、安全対策資機材の全戸設置、移住・定住者の増加

各主体ごとの取り組み事項

将来構想実現に向けた各主体の取り組み事項を次のとおり定めます。

主 体		取り組み事項
飯豊町	共通	<ul style="list-style-type: none"> ・地域安全克雪方針の検証並びに安全施策等を踏まえた方針の見直し ・克雪委員会やワークショップ開催による地域の課題や方向性の確認 ・除雪ヘルパーの派遣や除雪助成費の支給等の民地の除排雪支援に関わる住民ニーズの把握 ・要配慮者に関する情報の把握 ・除雪機材の貸出し ・除雪ヘルパー派遣事業の実施 ・宅道除雪事業の実施 ・有償ボランティア組織の普及活動
	安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・雪下ろし、敷地内除雪に関わる定期的な安全講習会やアンカー設置住宅等のモデルケースにおける講習会の開催 ・克雪住宅普及に向けた克雪リフォーム補助関連申請の住民への周知徹底
	組織強化・連携	<ul style="list-style-type: none"> ・有償ボランティアの仕組みや多様な共助組織活動について住民へ普及啓発 ・除排雪に関わる共助団体間の連携支援並びに自主防災組織との新たな連携推進 ・除排雪業者の現状や課題等の確認 ・除雪機の貸出しや老朽化した除雪機の更新の支援
	担い手確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・部落等や自主防災組織との連携による民地除雪の実施主体の担い手の確保 ・町外からの除雪ボランティアの受け入れ体制の整備並びに町内の若い世代との協力関係の推進 ・小中学生への地域学習の一環となる除排雪作業カリキュラムの検討並びに実践
	意識啓発・周知	<ul style="list-style-type: none"> ・安全対策に関する資機材の導入や除排雪に関する様々な支援制度に関する地区別の説明会実施 ・広報紙による除排雪に伴う死傷事故やヒヤリハット事例の紹介 ・様々な媒体を通じた町の「利雪」、「親雪」に関わる情報の発信 ・介護予防と合わせた高齢期の健康な身体づくりの促進
飯豊町 社会福祉協議会		<ul style="list-style-type: none"> ・有償ボランティアを導入している組織の経理事務作業 ・除雪ボランティアの受け入れ体制の整備及び、ボランティア活動保険の補助等の活動支援 ・生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の活動を通じた地域内互助の推進
飯豊町部落長等会		<ul style="list-style-type: none"> ・共助組織を支える地域コミュニティとして、町と連携した組織的な除雪体制の整備推進 ・自主防災組織との連携による担い手の確保
飯豊町民生児童委員協議会		<ul style="list-style-type: none"> ・要援護世帯等への相談、助言、見守り活動の実施 ・関係行政機関等への情報提供
長井・西置賜地域シルバー人材センター		<ul style="list-style-type: none"> ・屋根の雪下ろし以外の軽微な除雪作業実施 ・安全な除雪作業を行うための敷地内の支障物撤去等の実施
克雪体制づくりアドバイザー		<ul style="list-style-type: none"> ・除雪の安全対策に関わる技術支援や担い手確保に向けた町や住民、共助団体へのアドバイス ・除雪体制づくりアドバイザーとなる担い手の育成への指導助言
共助組織	NPO 法人等	<ul style="list-style-type: none"> ・有償ボランティア活動の推進と住民への普及啓発の推進 ・雪下ろし等住宅カルテ作成の積極的な推進
	除雪組合等	<ul style="list-style-type: none"> ・共助組織を支える地域コミュニティとして、町と連携した組織的な除雪体制の整備推進
除排雪業者		<ul style="list-style-type: none"> ・企業としての除排雪作業の持続的活動可能な体制の構築

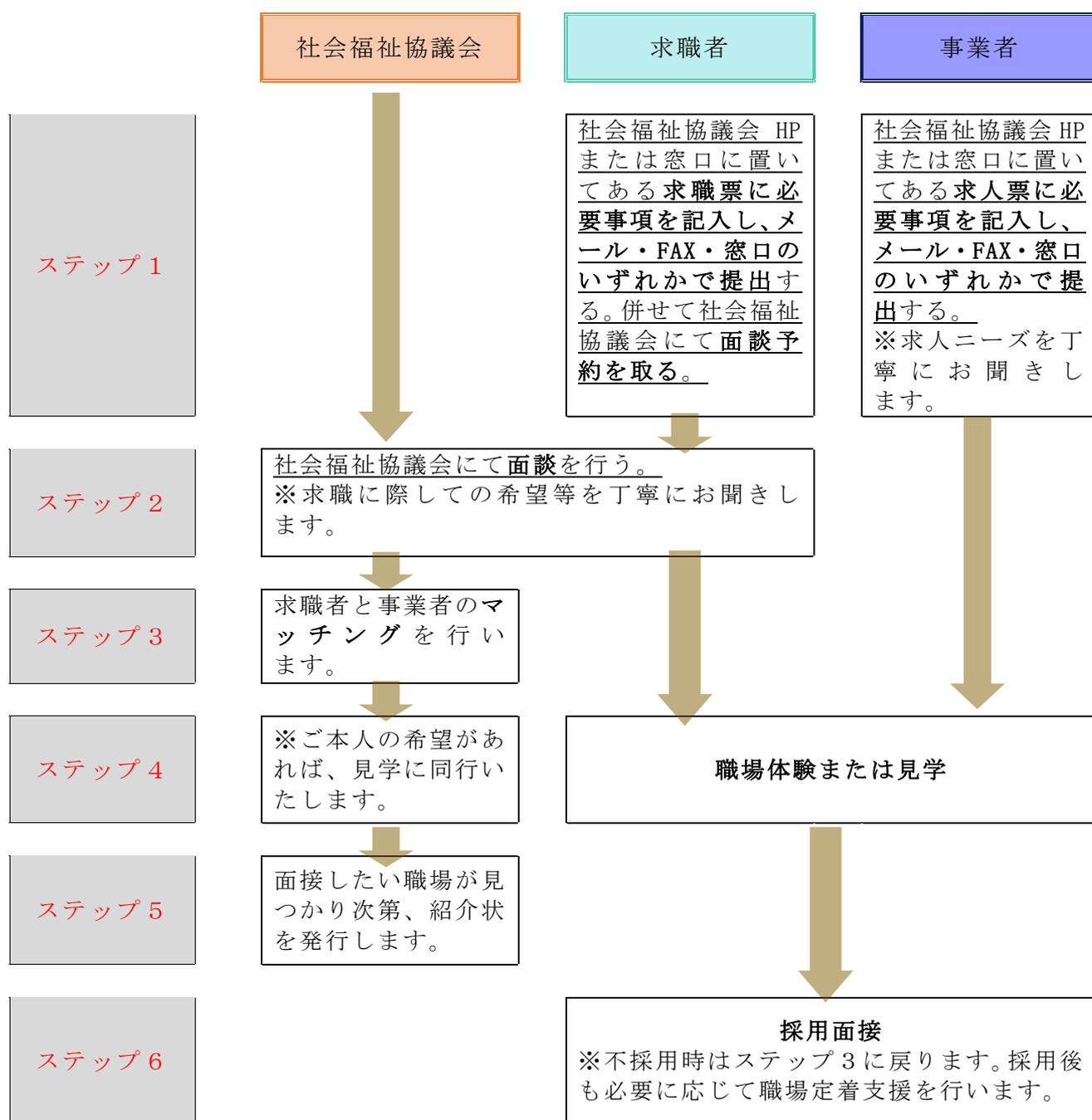
【出典】 飯豊町地域安全克雪方針（策定：令和6年3月）

具体的な取り組み 3

「無料職業紹介事業」による困窮者等への就労支援

無料職業紹介事業とは、職業紹介に関し、営利を目的とするか否かにかかわらず、いかなる名義でも手数料又は報酬等の対価を受けずに行う職業紹介です。様々な事情（ご本人の心身の状況など）により、一般就労が難しい町内在住の方（生活困窮者・高齢者・障がい者・生活保護受給者等）を対象とします。新規事業所を開拓しながら、就労機会に恵まれない未就労者や再就職希望者に適切な就労情報を提供するとともに、就労意欲の向上および利用者の立場に立ったアドバイスを通じて、より効果的な就労支援を実現するために社会福祉協議会による無料職業紹介の事業展開を検討していきます。

求人登録から採用までの流れ



具体的な取り組み4

デマンド交通システムの利用を拡大する

デマンド交通システム「ほほえみカー」の利用方法の周知のためには、リーフレット等を作成することが一般的ですが、地域に向いて実際に電話予約から乗車までを体験してもらうような乗車体験会を開くなどの企画を実施することにより、デマンド交通システムの利用につながることを期待されます。

1 ほほえみカー乗車体験会

【目的】

ほほえみカーに「乗ったことがない」「利用方法が分からない」「どこまで行けるんだべ」といった声に対応するため、実際に、乗車体験してもらうための企画を考えてみました。せっかくの体験会なので、近隣のお出かけスポットに行って楽しむ内容を盛り込み、外出できる喜びも実感してもらうことが目的です。

【参加対象】 町内の70歳以上で利用登録をしている方（未登録者はこの機会に登録してください）

【実施時期】 ①令和7年5月 〇日（水）・△日（木） ②5月 〇日（火）・△日（水）

【定員】 ①各4名 ②各5名

【同行者】 社会福祉協議会職員



【企画内容】

①白川湖 水没林見学 <中津川線乗車体験>

お迎え（9:45～10:15※中津川線下り）⇒白川湖畔（10:30～11:30）⇒白川荘（昼食12:00～13:30）⇒お帰り（13:40～14:20※中津川線上り）

②つづじ見学井井殿ランチ <飯豊長井線乗車体験>

お迎え（10:00～10:40※飯豊長井線上り）⇒白つづじ公園（10:45～11:45）⇒タスパークホテル（昼食11:45～12:45）⇒お帰り（13:00～13:40※飯豊長井線下り）

2 ほほえみカー出前説明会・乗り方教室の開催

【目的】

ほほえみカーは「手続きが難しそう」「使い方がわからない」といった疑問を解決し、普段のお出かけて「ほほえみカー」を活用いただけるように、直接出向いて乗り方をわかるまで説明します。

【対象者】 利用登録をしている方又は登録を検討している方又はグループ

【実施日】 毎月第3水曜日の午前9時30分～11時00分まで

【申し込み方法】 希望日の2週間前までに電話で申込みください。

【注意事項】

利用登録する場合、福祉割引適用者は、障害者手帳等を提示してください
都合によりご希望の日時に出張説明会・乗り方教室ができないことがあります。



1

■ ほほえみカーの仕組み、利用予約の方法、乗車まで流れをお伝えします

2

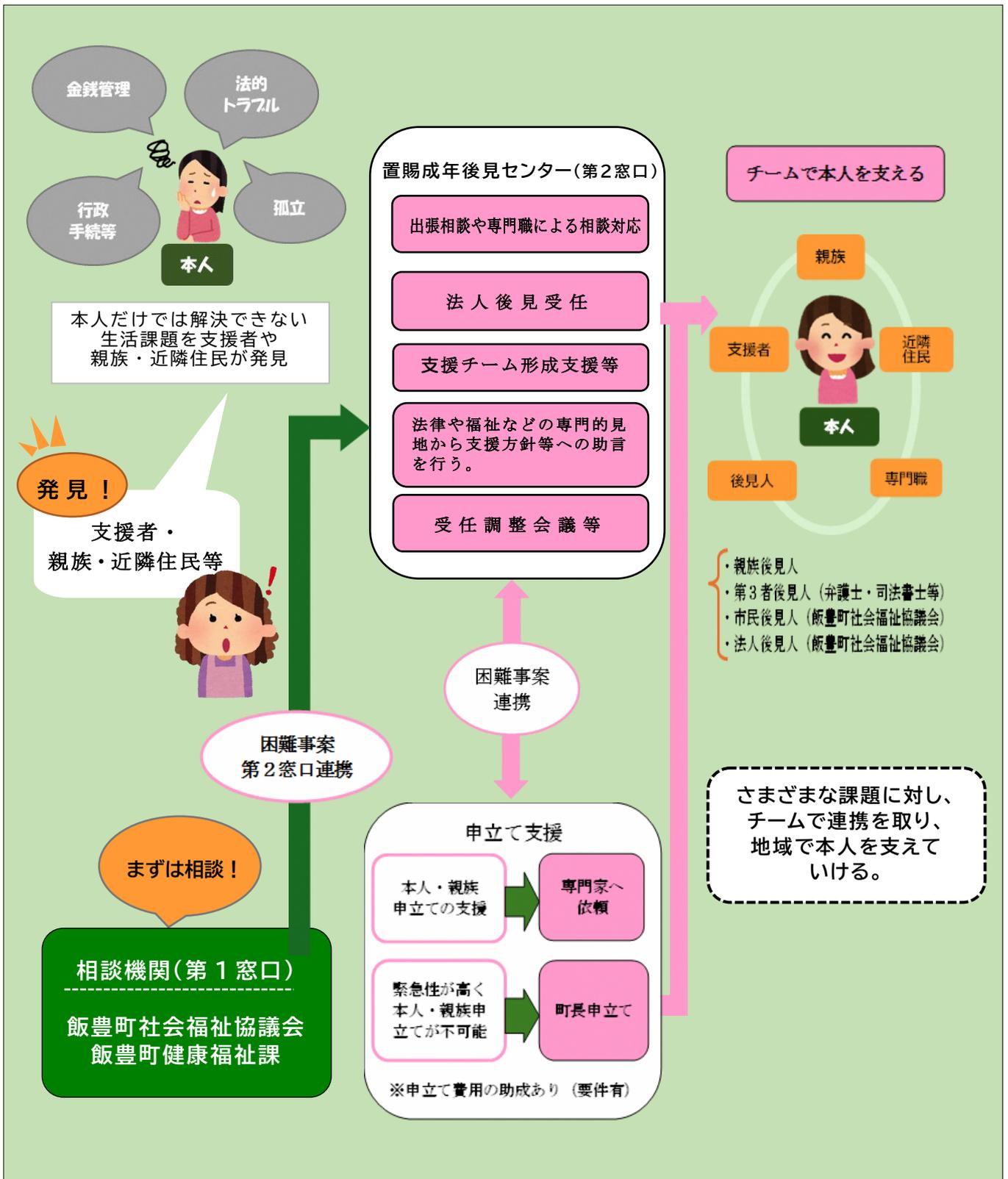
■ 1ヶ月間有効の町内利用券をお一人につき2枚進呈します。

3

■ 未登録の方は、その場で利用者登録ができます。

「成年後見制度」の利用を促進する

成年後見制度の利用促進の取り組みは、権利擁護支援の地域連携ネットワークを通じて推進されるべきものです。単に利用者の増加を目的とするのではなく、制度の利用を必要とする人が、尊厳のある本人らしい生活を継続することができる体制の整備を目指します。



具体的な取り組み 6

地域に「子どもの居場所」をつくる

子どもの居場所づくりは、子どもの健全な成長や学びを支援できるだけではなくありません。子育て世代へのサポートや地域とのつながりの強化にもなり、少子化対策にもつながります。

町内で子育て支援活動を行うNPOやグループ等が主体となって、子どもたちが安心して成長できる居場所をつくることは、子どもの健全な発育と未来の社会を支えるためにとても重要なことです。

実際に子どもの居場所づくりの事例としては、子ども食堂のほか遊び場（プレーパーク）、学習支援教室などが挙げられますが、ここでは山形県内 3 か所の子どもの居場所の活動例を紹介します。

食堂名・イベント名	実施団体	実施日時	対象	利用料金
①みんなでつくたべ！ (山形市南原町)	NPO 法人クローバーの会@やまがた	毎月第 4 土曜日 (17:00~19:00)	不登校・不登校傾向の子ども、その保護者など。	無料
②地域食堂なないろ (白鷹町荒砥乙)	支えあう地域づくり なないろの会	毎月第 3 土曜日 (11:30~13:30)	誰でも。	子ども 200 円 大人 300 円
③みんなでランチ (山形県飯豊町)	NPO 法人ほっと	不定期開催	誰でも。	無料

①みんなでつくたべ！

【NPO 法人クローバーの会@やまがた】

2015 年 4 月に不登校・ひきこもりの子どもをもつ親の会としてスタートしました。現在は居場所づくりやつながりづくりの活動をしています。「みんなでつくたべ！」は、令和 5 年度までは小さな子どもがいる家庭やひとり親家庭を対象としていましたが、令和 6 年度からは不登校・不登校傾向の子どもやその保護者を中心とした場となっています。

②地域食堂「なないろ」

【支えあう地域づくり なないろの会】

構成メンバーは白鷹町全域から集まった 60~70 代の男女 9 名。白鷹町で開催された県の担い手養成講座のトライアルの受講生が、受講後に「このまま終わらせてしまうのはもったいない。」と会を発足し、2018 年 4 月には白鷹町鮎貝にある一軒家を借り「つどいの場 にじ」を開設しました。子ども食堂の運営も行っており、スタッフが家庭菜園で作った野菜を使用したり、手作りにこだわった食事を提供しています。

③みんなでランチ

【NPO 法人ほっと】

飯豊町で子どもの預かりやイベント託児、地域交流活動を行っている団体です。2025 年 2 月には世代間交流事業として、こどもみらい館と NPO 法人ほっとの共催で「みんなでランチ～えほうまきつくり～」を開催しました。

※情報が変更・更新されている場合がありますので、ホームページ等でご確認ください。
※今回紹介した例はほんの一部です。県内各地で運営されていますので、子どもの居場所に関して興味のある方、実際に立ち上げてみたい方は社会福祉協議会 (TEL: 72-3353) までお問い合わせください。

(参考文献)・クローバーの会@やまがたホームページ・山形県ホームページ
・チャレンジ応援やまがたホームページ・飯豊町ホームページ

